

# 12月議会報告

12月2日に始まった定例市議会は一般質問、各常任会の審議を経て22日、市長から提案された議案すべてが、賛成多数もしくは全会一致で可決され閉会しました。日本共産党市議団は提案された議案22件のうち、問題のある5件については反対し17件には賛成しました。以下、反対した議案の詳細です。

## 市営住宅は市の責任で運営を

市営住宅の管理は現在、民間に委託し指定管理者が行っています。2023年からの5年間を和歌山県住宅供給公社を指定管理者にしようとする。和歌山市個人情報の保護に関する条例はこれまで市民の

や修繕は行っているものの、事前の内覧や浴室入り口の改修などの要望には対応していません。市民の住まいを保障するという観点からも、市が直接管理運営することが求められます。



## 個人情報保護から「利活用」へ

プライバシーを守るために制定されていました。ところがデジタル化を進める一環として、国はあらゆる情報を一元管理し活用できるように、新たな条例の制定を各自治体に

求めている。和歌山市の条例改正はこれを受け入れたものです。地方自治体は住民の暮らし、福祉の増進を図ることが最大の目的であり、個人情報についても自治体が責任を持つて保護に努めるべきです。



通常国会が始まっています。昨年末に閣議決定された“安保3文書”は敵基地

攻撃能力の保有が含まれたもので、これまでの専守防衛という考え方から、先制攻撃できるようになるというのは憲法違反であることは明白です。日本の針路が180度転換されようとしている今、力を合わせて撤回を求めましょう。

## 市議会議員の期末手当の引き上げ

職員の勤勉手当が年間0.1か月引き上げられることに合わせて、議員期末手当を同様に引き上げようとする

は、コロナ禍や物価高騰に苦しむ市民の理解を得られるものではありません。



12月議会の経済文教委員会で付託議案の審査を行う森下さち子市議員

## 農業および漁業集落排水事業を企業会計化

集落排水事業は水洗化率を高めることや衛生管理など生活環境の整備という点で必要な事業であり、特別会計で運営されてきました。営利を目的

に集落排水事業を企業会計に組み入れるとしますが、独立採算制とは馴染まない事業であり、企業会計化することで市民負担が増える可能性があります。

## JR和歌山線を現地調査

9月議会、12月議会と続けて井本ゆういち議員がJR和歌山線布施屋

利用されています。布施屋駅をはじめ、田井ノ瀬、小倉など駅の無人化だけではなく、昨年駅ホーム

ると言わざるを得ません。和歌山線だけでなく紀伊中ノ島や宮前など阪和線、紀勢本線の駅にも波及していく計画になっています。

## 無料 法律相談

井辺・森下さち子事務所にて

2月 8日(水) 18:00~

2月 16日(木) 13:30~

◆事前予約をお願いします。

市役所議員団控室  
森下さち子まで

☎ 435-1113

の屋根が撤去され、駅構内のトイレもなくなってしまいました。JRはスマート駅にするため列車に設置されているトイレを利用してほしいと言ったそうですが、雨の日は濡れた傘を持って満員に近い列車に乗り込む生徒たちの気持ち悪さなど、あまりに配慮がなさすぎ

1月27日、穀田衆議院議員事務所の協力を得て、松坂みち子さん、井本市議とともに私も同行し、布施屋駅、田井ノ瀬駅を現地調査しました。田井ノ瀬駅では党の宮東支部が乗降客にアンケート調査も行っています。穀田衆議院議員は現地調査やアンケートの結果に

ついでに予算委員会でも取り上げてくれる予定です。



【写真右】布施屋駅で調査をする松坂さん、井本市議、森下市議（左から）  
【写真左】地域の方の話を聞く調査チーム。左から森下市議、松坂さんら

